



# 予備校クラスユニック あさぶ現役部通信

— 保護者の皆様方へ —

お子様の大学受験を成功に導くためには、保護者の方々との連携が大切であるという信念から、この通信を毎月発行させていただいております。時には辛口の内容もあるかとは存じますが、意のあるところをお汲み取りいただければ幸いです。お子様の志望大学「現役合格」を目指して、担任をはじめとするスタッフ一同、一生懸命に指導とサポートを致して行く所存です。何卒ご協力の程をよろしくお願い申し上げます。

## ■ 桜咲く春に向かって！（高3生）

私立は受験が既に始まり、終盤戦に差し掛かろうとしています。国立は残すところあとわずかとなりました。先月号でもお話ししましたが、絶対に最後まで諦めないで欲しいのです。縁起でもないとおっしゃるかもしれませんが、私大の二期試験は3月まであります。国立の後期試験の発表は3月20日以降です。

毎年後期試験で栄冠を勝ち取る受験生が何人もいます。彼ら、彼女らに言えるのは、最後の最後まで諦めなかったことです。前期の合格発表は3月3日からです。後期試験は3月12日からですから、正味一週間くらいしかありません。前期で不合格となり、ただただ落ち込む生徒が多い中、後期合格の栄冠を勝ち取った者たちは、最後の気力を振り絞り、最後まで諦めずに勉強を続けた者たちなのです。

五年前になりますが、自分が担任をしていた生徒が二人、前期試験で北大に落ちました。二人とも私大の滑り止めに準備していたこともあり、後期も樽商ではなく、北大に出願していました。同級生が笑顔で職員室に合格の挨拶をしに来る中、具合の悪そうな顔で、後期の受験科目である小論を書き続けていた姿を今でも覚えています。精神的にもかなり追い詰められていたはずですが。幸運にも、彼女たちは二人ともめでたく法学部と経済学部合格し、晴れて北大生となりました。

前期が不合格でも後期で合格することは決して不可能ではありません。しかし、そのためには強靱な精神力が必要です。繰り返しになりますが、受験は勝負事です。合格証書を手に入れ、入学手続きを終えるまで、決して気を抜かずに勝つための努力を続けてもらえればと思います。

このような方針で最後の最後まで指導して参ります。ご協力をよろしくお願い申し上げます。

※ 二月末から三月末にかけて、合格大学・進学大学の調査のためにお電話させていただきます。もしよろしければ、ご家庭の方、あるいは本人から、あさぶ現役部にご連絡いただくと助かります。

## ■ 二者面談開始（高1生・高2生）

2月6日から高1生・高2生の二者面談を行っています。①志望大学の確認・②定期テスト無料補習の案内・③勉強に関して現在困っていること、の三点について話をしました。これからの受験に向けての方向性を確認し、後述の定期テスト対策補習（無料）の参加を強く勧めるためです。

高2生はもう既に受験学年です。これからは模擬試験も学校によっては月1回を越える頻度で行われるはずですし、センターまでの残り日数は365日を切りました。これから4月までに、どれだけ体制を整えておけるかは、受験戦略上非常に重要です。つまり、この3か月間で土台の整備をしておけば、志望大学に現役合格できる可能性は格段に増加するということです。

文系においては英語・数学・国語、理系においては英語・数学・理科は、最低限度の成績を確保しておく、夏以降になって慌てずすみませう。今年の3年生もまだ結果は出ていませんが、長い時間をかけて準備してきた生徒は、やはりセンター試験で着実に得点を積み上げた者が多かったのは事実です。

また、高1生は高2生よりもゆとりはあるものの、それでも受験まであと丸2年を残すのみとなりました。とりわけ国立を狙う生徒は勉強しなければならない科目が多いため、油断は禁物です。最難関である医学部を狙うのであれば、高2生でも2013年度のセンター試験で8割を確保したいところです。丸1年の飛び級をすることになります。

受験は仕事量ですから、準備期間が長ければ長いほど有利です。しかし、モチベーションの維持が難しいため、どうしても直前になって慌てて勉強をはじめることが多くなりがちです。先月号でもお話ししましたが、自己管理ノート（勉強日記）はその点でも非常に有用なツールです。これからも毎日この日記を付け続けるように指導して行きたいと考えています。ご協力をよろしくお願い申し上げます。

## ■ 定期テスト対策補習（無料）開始（高1生・高2生）

高1・高2生の定期テスト対策補習（英語・数学）を行っています。担当佐々木・武田までお申しつけください。各高校の日程に合わせた個人別補習時間割を作成し、個別に対応致します。

あさぶ現役部で無料の定期テスト対策を行っているのには、大きな理由があります。

第一に、消化不良を起こさせないために、学校教材を利用して実力を伸ばしたいからです。本来、大学受験を成功させるためのお手伝いが、あさぶ現役部の主たる任務です。したがって、定期テストではなく実力テストの成績の方が重要なはずですが、しかしながら、高1生・高2生の段階で、数多くの教材を使用して受験指導を行うことは、生徒の消化不良を引き起こし、実にならない勉強をさせてしまう可能性が高いのです。もちろん、学校教材の分量が少なかったり、生徒が完全に学校教材を消化している場合には、追加の教材を使用しなければなりません、そのような場合はまれです。

つまり、定期テストを「利用」して、実力を伸ばしたいのです。ですから、定期テストでしか問われないような問題については、「実際の受験では使わないけど、単位を取るためには覚えるしかないみたいだね。」等言いながら、指導を行うこととなります。

第二に、効率的な勉強方法を指導したいからです。受験勉強の八割は暗記です。しかし、この暗記がそう簡単ではありません。覚えることは簡単ですが、いつでも思い出せるようにすることが、非常に難しいのです。

Fig.1

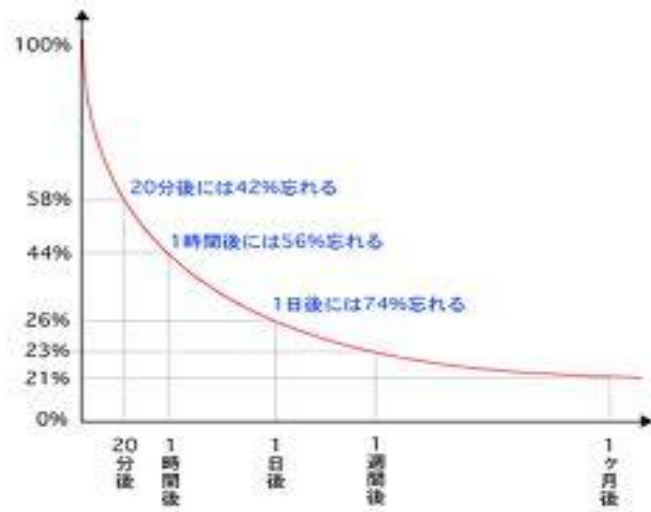


Fig.2

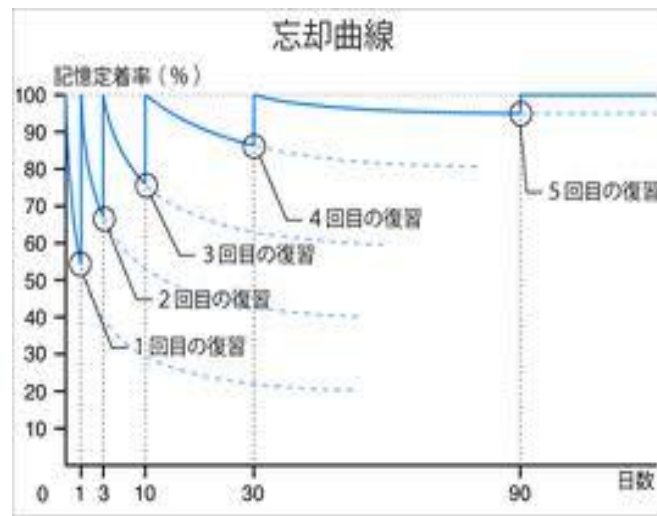


Fig.1 が忘却曲線と呼ばれるものです。人は暗記したものをすぐに忘れてしまいます。Fig.2 は維持リハーサル・精緻化リハーサルと呼ばれる作業を行うことで、短期記憶を長期記憶へと転送している途中のモデルです。維持リハーサルは何度も声に出して読んだりする作業です。精緻化リハーサルは他の事項と関連付けを行って、忘れにくくする作業です。

しかし、ここでさらに難しい問題が発生します。(Table.1 参照)それは、出題範囲の広い実力テストの勉強をどのようにすればいいのかという問題です。そしてさらに凄くことに、受験では実力テストよりもっと広い、全範囲から問題が出題されます。この対処方法を知らないと、受験直前になって途方に暮れるのは、火を見るよりも明らかです。この勉強方法も定期テスト時に練習させておきたいのです。

Table.1

定期	①	②	③	④	⑤
実力	①		②		③
受験	①				

※ ○の中の数字は、全範囲に対するテストの回数を示しています。例えば定期テストでは数ⅠAの範囲を5つに分けて出題するのに対して、実力テストでは3つに分けて出題しているという模式図です。

現役で合格するためには、浪人の二倍の勉強効率を獲得する必要があります。この機会をご利用いただき、定期テストの成績を越えた、受験に必要な技術を身に付けてもらえればと思います。ご家庭におきましても、「テスト勉強はあさぶ現役部でしたら？」とお子さんに提案していただくと非常に助かります。重ね重ねこの点に関しましてもご協力をよろしくお願い致します。

※ 参考動画「あさぶ現役部 チェックマークのつけ方」<http://www.youtube.com/watch?v=1zqX9dYCngw>

## ■ 新年度の授業形態についてのご案内 (高1生・高2生)

2012年度のパンフレットを同封いたしました。最大の変更点は、1:2の個別指導を廃止させていただいた点です。今後は1:1の個人指導・WEB授業・グループ指導を柱とした指導を行って行きます。

1:2の個別指導を廃止した理由は、高い勉強効率を確保するためです。90分間で演習を取り入れながらの個別指導は、使い方によってはかなりの効果があります。しかし、忙しい高校生にとっては、45分の予習・45分の授業・45分の復習をきちんとやってもらい、授業では自分の分からない部分のみをしっかりと教えてもらう仕組みの方が、格段に勉強効率が高くなります。

授業形態のみならず、自習室・モチベーションプログラム・自己管理ノート指導・無料公開講座等、高校生の現役合格を強力にサポートするために、これからもあさぶ現役部はどんどん進化し続けます。

※ 4月以降も1:2のTAI個別指導のご利用を希望される方は、3月中旬に担当武田までお申し付けください。例外措置として継続生に限り、一定期間実施をさせていただきます。

## ■ 2月中旬～3月の予定

【年月日】	【曜日】	【予定】
2012年1月30日	月	2月期開始(1・2年生) 直前講習 第②ターム開始(3年生)
2012年2月6日	月	無料定期テスト対策開始(1・2年生) 二者面談開始(1・2年生)
2012年2月18日	土	直前講習 第②ターム終了(3年生)
2012年2月24日	金	2月期終了(1・2年生)
2012年2月25日	土	国立二次前期試験開始(3年生)
2012年2月27日	月	後期受験対策開始(3年生) 3月期開始(1・2年生)
2012年3月26日	月	春期講習開始

※ 振替予定については「個人別授業予定表」を生徒にお渡ししておりますのでご参照ください。また、個別指導の科目変更や停止については、先生の組み合わせの関係上、各月期開始日の15日前までにご連絡ください。

※ 先月号の通信では、3月期開始が2月23日となっておりましたが、2月27日の間違いです。お詫びして訂正させていただきます。

大学受験に必要なあらゆる情報をご提供します。下記のアドレスまでご遠慮なくご連絡ください。

予備校クラズユニック

札幌市北区北37条西3丁目3-11 麻生駅徒歩2分

あさぶ現役部



011-716-7162

[classe-takeda@classeunique.ac.jp](mailto:classe-takeda@classeunique.ac.jp)

[classe-sasaki@classeunique.ac.jp](mailto:classe-sasaki@classeunique.ac.jp)



# 予備校クラスユニック あさぶ現役部通信

— 保護者の皆様方へ —

お子様の大学受験を成功に導くためには、保護者の方々と連携が大切であるという信念から、この通信を毎月発行させていただいております。時には辛口の内容もあるかとは存じますが、意のあるところをお汲み取りいただければ幸いです。お子様の志望大学「現役合格」を目指して、担任をはじめとするスタッフ一同、一生懸命に指導とサポートを致して行く所存です。何卒ご協力の程をよろしくお願い申し上げます。

## 「あきらめず」、「気を抜かず」に最後まで頑張り！（高3生）

センター試験が終わると出願面談が始まります。この面談でセンターの自己採点結果をもとに、どの大学に出願するかを決定してもらえればと思います。

例えば、北大・経済学部を志望している生徒の場合、センター得点率が78%以上であれば、前期は北大、後期は樽商に出願することになると思います。しかし、得点率が75%の場合は大きな問題が生じます。後期の樽商はセンターのみで二次試験がないため、論理的には76%以上なら100%合格ですが、75%以下なら100%不合格になるからです。また、志願者の志望状況により難易度が変更する場合があります。例えば、当初第一志望と考えていた道教大・釧路校の人気の高まり、志願者が殺到した場合、函館校の方に願した方が有利な場合も出てきます。

昨年度の浪人生で北大の歯学部合格した鈴木チューターは、実はセンターで大失敗をしてE判定でした。しかし、二次対策に入る前に各教科の目標点を綿密に計算して、しっかりと合格設計図を描き上げて、みごと栄冠を勝ち取りました。例えば、英語は150点の配点で、合格者ボーダーは90点前後だと予想しました。他の受験生が得点を伸ばせない英作文で+15点稼ぐ算段だったと思います。これだけで、センター試験に換算すると約45点分の失敗を補えます。最後まであきらめずに考えれば、合格への道を探すことができます。判定が悪いからといって安易にあきらめないことをお勧めします。

自分の経験でも高校時代のテニスの試合でマッチポイントを3回握られながら3回とも逃れて逆転勝利したことがあります。最後まで粘れば勝機というものが出てくるものなのだと痛感しました。精神的に強気なら必ず勝てるわけありませんが、弱気になったら必ず負けます。勝敗はいつも紙一重で決まるからです。

センター試験が良くても悪くてもまだ勝負は確定していません。最後の最後までお子さんを応援します。国公立大学を志望する生徒の場合、センター試験終了4日後にセンターリサーチの集計結果が戻って来ま

す。その結果を基に、二者・三者面談を実施します。この面談が本当の意味での最終の進路面談となります。私立大学を志望する生徒の場合、センターリサーチ結果が戻ってきた後で、センター利用私大で願書を提出すれば合格できる滑り止め大学の一覧を配布します。その後に私立大学併願パターンの作成をお手伝いすることになります。

センターの結果が良くても気を抜くことなく、悪くてもあきらめることなく、受験生としての努力を最後の最後まで続けて欲しいと思います。保護者の方々におかれましても、お子さんが有頂天になったり(こちらの方がより危険です)、落胆したりするのを見かけた際には、担任に相談に行くようにとアドバイスしていただくと助かります。

## 計画的な受験準備のために（高1生・高2生）

二年生はいよいよ受験学年となりました。残り日数も365日となり、いよいよはっきりとしたゴールに向かって走り出すこととなります。一年生にとっても残り丸2年を残すのみとなりました。先月号でもお話ししましたが、計画的な受験勉強のための勉強日記(自己管理ノート)をつけることを、これからもお子さんに強く勧めて行きたいと考えています。

昨年度に現役部に導入した自己管理ノートですが、3年生でも受験間際まできちんとつけずに過ごしてきた生徒が多かったのが実情です。しかし、入試間際になると、「もっと効率的に勉強しないといけない。」という生徒が増えて来ました。そして結局、数人の生徒が自己管理ノートをつけ始めました。より時間効率の高い受験勉強をしないと、受験までに間に合わないことに本当の意味で気づいたからだと思います。

高1・高2生におきましても、これからの無料テスト対策授業(英・数)の際にも、自己管理ノートを持参させたり、勉強の計画を立案させたりすることで、受験本番に必要な時間効率を考えた勉強が少しでも上手になるように指導して行きたいと考えています。

さらには、このノートの表紙には志望大学を記入しなければなりません。これからの受験勉強のゴールをしっかりと見据えた上で勉強を続けてもらうためにも、このノートは必要不可欠なはずで、これからもお子さんに記入と提出を強く勧めて参ります。ご協力をいただくと幸いです。

## 高校時代の思い出(3)

全道大会2日目、個人戦シングルの試合だった。ベスト8を決める試合、これに勝てば全国大会が見える(※1)。負け審(※2)は全くやる気がなく、ミスジャッジを連発。会心のサービスエースを2本連続フォルトにされた。審判に腹を立ててしまうと、精神的にゆとりがなくなる。ペースを崩し、負ける確率が増えてしまうので、クレームも言わずに、そ知らぬふりで次のサーブを打った。

すると、対戦相手のマッチョなヤンキーっぽい兄ちゃんが、明らかな、これみよがしの空振りをした。当然ポイントは俺に入る。『ああ、なるほど、そういうことね。セルフジャッジ(※3)で試合するってことね。面白いじゃん。』

アホ審判は、しばらくして事の次第を理解したらしく、少しは真面目に仕事をしだした。それでもその兄ちゃんとの特殊ルールは、試合の最後まで続いた。

結局その試合に負けて、高校の部活人生は終わりを迎えた。勝負に負けて気持ちがいいなど感じたことは一度もないが、あの試合だけは別だった。

(※1)6位までが全国大会へ出場できた。

(※2)前の試合で負けたプレイヤーが審判を務める仕組み。

(※3)審判なしで試合をする方法。プレイヤーは自分の側のコートにボールが入ったのか、出たのかを判定する。

## ■ センター自己採点集計後の出願面談について(高3生)

センター自己採点集計後の出願直前面談(生徒と担任の二者面談です。希望の場合は保護者の皆様を加えた三者面談)を **1月21日(土)9:00~17:00**で行います。

**保護者の皆様を加えた三者面談をご希望の方は、担任又は教務・事務までご一報下さい。**

今年度は国公立大出願締め切り日が2月1日(水)になっています。

(出願期間:1月23日~2月1日)したがって、遅くとも1月30日(月)には出願しなければなりません。「消印有効」や「必着」などの出願条件は大学によって違いますので注意のこと。また、1月31日に郵送した場合は、雪などの交通障害によっては厳しい場合があるので注意。入学検定料納付も忘れずに!尚出願締め切りは国公立大前期・後期とも一緒の出願なのでご注意ください。)

国公立大学出願は、1月14日・15日のセンター試験後の16日(月)に当校で自己採点集計を行いますので、21日(土)以降の結果を見てから出願して下さい。

出願直前面談は、当校ではデータネット実行委員会(ベネッセ・駿台共催)のデータおよび河合塾センターリサーチのデータの両方を基に当校の担任団がアドバイスをを行います。(上記データ数は、全国40万人以上、北海道地区約13,000人強)

※来校できない保護者の皆さままで電話での相談を担当と希望する場合も承りますのでご一報下さい。尚、**電話相談日時も1月21日(土)9:00以降**でお願い致します。

三年生にとってこれからの時期は、一生の中でも濃密な時間になります。高校受験とは異なり、大学受験は全国50万人以上のライバルと戦うことになります。冬期講習会の前にやっておかなければならないことが幾つかありますので、それをまとめてみました。このような方針で最後まで指導してまいりたいと考えております。

## ■ 名称変更のお知らせ

「あさぶ現役館」から「予備校クラブユニック あさぶ現役部」へ名称を変更致しました。クラブユニックには「麻生本校」「円山校」「厚別校」の三つの教場があります。校舎毎に指導している生徒の学年が異なります。麻生本校では高校生・浪人生、円山校では小学生・中学生・高校生・浪人生、厚別校では小学生・中学生・高校生の指導を行っています。今後、指導する生徒の学年の幅が広がり、新たな地域で分校を開設する可能性もあるため、名称の統一化を図ることに致しました。

「あさぶ」というひらがなのイメージはそのまま残したかったため、この通信では「麻生現役部」ではなく、「あさぶ現役部」とさせていただきます。

フリーメールアドレスは [asabugenekibu@gmail.com](mailto:asabugenekibu@gmail.com) に変更致しました。今後はこちらをお使いください。(従来の [classe-takeda@classeunique.ac.jp](mailto:classe-takeda@classeunique.ac.jp) と [classe-sasaki@classeunique.ac.jp](mailto:classe-sasaki@classeunique.ac.jp) もお使いになれます。)

## ■ 1月中旬 ~ 2月の予定

【年月日】	【曜日】	【予定】
2012年1月14日	土	センター試験 1日目
2012年1月15日	日	センター試験 2日目
2012年1月16日	月	1月期開始(1・2年生)
2012年1月17日	火	直前講習 第①ターム開始(3年生)
2012年1月20日	金	最終出願面談①(3年生) 二者面談
2012年1月21日	土	最終出願面談②(3年生) 二者・三者面談
2012年1月27日	金	直前講習 第①ターム終了(3年生)
2012年1月30日	月	2月期開始(1・2年生)
2012年2月18日	土	直前講習 第②ターム開始(3年生)
2012年2月23日	木	直前講習 第②ターム終了(3年生)
2012年2月24日	金	3月期開始(1・2年生)
2012年2月25日	土	後期受験対策開始
2012年2月25日	土	国立二次前期試験開始(3年生)

※ 振替予定については「個人別授業予定表」を生徒にお渡ししておりますのでご参照ください。また、個別指導の科目変更や停止については、先生の組み合わせの関係上、各月期開始日の15日前までにご連絡ください。

※ 高1生・高2生の三学期開始は、1月16日(月)からです。但し、1月期は月・木コース、火・金コースとも4回指導、2月期は通常通り7回指導です。(授業料は個別指導が11314円、WEB授業が8457円、個別+WEB割引が17029円となります。)

※ 高3生は1月の通常授業はありません。私大直前対策・国公立二次対策・個別指導の受講を希望する場合は、担当武田・佐々木までご確認ください。

大学受験に必要なあらゆる情報をご提供します。下記のアドレスまでご遠慮なくご連絡ください。

予備校クラブユニック

札幌市北区北37条西3丁目3-11 麻生駅徒歩2分

あさぶ現役部



011-299-1311



asabugenekibu@gmail.com



# 予備校クラスユニック あさぶ現役部通信

— 保護者の皆様方へ —

お子様の大学受験を成功に導くためには、保護者の方々との連携が大切であるという信念から、この通信を毎月発行させていただいております。時には辛口の内容もあるかとは存じますが、意のあるところをお汲み取りいただければ幸いです。お子様の志望大学「現役合格」を目指して、担任をはじめとするスタッフ一同、一生懸命に指導とサポートを致して行く所存です。何卒ご協力の程をよろしくお願い申し上げます。

## ■ 後期三者面談終了 — ご参加、誠にありがとうございました

先日の12月3日・4日に後期三者面談を実施しました。76.5%の保護者の方々にご参加いただきました。お忙しい中ありがとうございました。当校でのお子様の様子についてお話させていただくと共に、これからの指導方針について、個別にお話させていただきました。

三年生におきましては、第一志望大学の確認とこれからの勉強メニューが主な内容でした。国公立大学を志望する生徒の場合、センター試験終了4日後にセンターリサーチの集計結果が戻って来ます。その結果を基に、二者・三者面談を実施します。この面談が本当の意味での最終の進路面談となります。

私立大学を志望する生徒の場合、センターリサーチ結果が戻ってきた後で、センター利用私大で願書を提出すれば合格できる滑り止め大学の一覧を配布します。その後に私立大学併願パターンの作成をお手伝いします。

二年生と一年生には、これからの方向性の確認をさせていただきました。二年生はあと30日で「受験生」になります。一年生はあと30日+365日で「受験生」になります。事前にしっかりとした受験準備をすればするほど、第一志望大学への合格確率は高まります。定期テストはもとより、冬期・1月期・2月期・3月期・春期で、その学年で勉強した基礎事項をしっかりと固めさせ、実力テストにも対応できる力を受験で使用する教科では身につけさせたいと考えている旨、お話させていただきました。

大学受験は本人だけで成功できるものではなく、保護者の方々のご理解・ご協力があって成功できるものだと考えております。大学受験・勉強の仕方等について、疑問点等ありましたら、ご遠慮なく担当の武田・佐々木まで相談するよう、お子様に勧めていただくと幸いです。

## ■ 最後の決戦 — 三年生に向けて

三年生にとってこれからの時期は、一生の中でも濃密な時間になります。高校受験とは異なり、大学受験は全国50万人以上のライバルと戦うことになります。冬期講習会の前にやっておかなければならないことが幾つかありますので、それをまとめてみました。このような方針で最後まで指導してまいりたいと考えております。

### ① 各教科の勉強の方法論を確認すること

これから模試もなくなりどんどん不安が増幅します。「本当に成績が伸びているのか。」「今やっていることでいいのか。」「時間が足りない。」合格するのかわからない不安は消す必要もないし、消えるはずもありません。しかし、無駄な不安はなくしておきましょう。試験の前日になって勉強方法がわかって手遅れです。「たくさん問題を解きまくる。」「問題慣れする。」が一番の間違いです。

例えるなら、サッカーの試合だけをやっていけばプロ選手になれると言っているのと同じです。基礎トレーニングの時間・体づくりの時間・ビデオを見て反省する時間・戦術について本で学ぶ時間・戦術について講義を受ける時間、これらの全てがなければ一流の選手になれるはずがありません。

たいていの三年生には、冬期講習会では、浪人生と同じ講義授業の受講を強く勧めています。それは、受験の最終局面になって、心が揺れ、不安になり、自滅する生徒が毎年数多くいるからです。

受験は明らかに勝負事です。弱い心のままではどうも勝つことはできません。今年も既に何人もの生徒の悔し涙を見ました。これからもずっと見続けることになると思います。最後に嬉し涙を見れる時まで応援し続けますので、わからないことがあれば何なりと遠慮なくご相談ください。

### ② 体調管理のメニューをすること

これも見落としがちですが、勉強の時間を一割削ってでも、体調管理に努めるべきです。考えてみてください。もし風邪をひいてセンター試験の一週間前、全く勉強できなかったらどうしますか？試験前日に歯が痛くなったらどうしますか？「試験で満足の行く得点がとれなかったのは風邪をひいたから仕方がない。」と言えますか？皆さんにとっての試験日は、アスリートにとっての試合の日です。夢に見たオリンピックのひのき舞台なのです。

負ける要素と言いつつそこら中に転がっています。それらをひとつひとつ摘み取って行くことが、勝利への唯一の王道です。神頼みは最後にしましょう。その前に自分で出来ることが山ほどあるはずですよ。

### ③ 勉強日記(自己管理ノート)をつけること

上記の二点を確実なものにするために、是非自己管理ノートをつけましょう。英語の暗記例文と音読練習と同様に、いつから始めても大きな効果があります。心と体を安定させないと、頭は自分の思い通りにきれいに動きません。自己管理ノートをつけ続けることは、自分の頭を躰けることなのです。

また、日々の時間の大切さを理解することで、優先順位の高いものから片付ける癖が自動的に身につきます。そして、それこそが入試問題の解法を習得するための入口なのです。なぜなら解法とは、与えられた時間の中で、最高の得点を叩き出すために、時間と労力を優先順位を考えて有効配分する作業に他ならないからです。

#### ④ 受験準備を計画的に行うこと

私立大学を受験する場合に、受験日・合格発表日・手続き締め切り日を表にまとめておくことは非常に重要です。宿泊施設の予約、飛行機・列車の予約はもとより、入学金の二重払いにならないか等を確認することができるからです。今回の三者面談に参加していただいた保護者の方にはお話ししましたが、試験日と移動に無理がないかも表を作成して確認いただければと思います。作成のツール等でヒントになるものがありますので、ご入用であればお子様を通じてお申しつけください。

### ■ 受験生として自覚と勉強方法の確立 — 一年生・二年生に向けて

「後期三者面談」と「最後の決戦」でも触れましたが、まずは明確なゴールを設定します。次にそのゴールに向けて、①しなければならぬこと・②その方法・③その工程表を作成します。この作業をしっかりと行えば、よりゴールに近づけるのは、別に受験勉強に限ったことではありません。しかし、その全てをお子さんに任せっきりにするのは、少し酷だと思えます。なぜなら、浪人生でさえ、少しずつ訓練を積むことで、初めて獲得することができる力だからです。挫折を知らず、彼らよりも若い高校生の場合はなおさらです。

あさぶ現役部は、受験勉強については、このような作業を強力にお手伝いすることができます。そのための一番のツールはやはり勉強日記(自己管理ノート)なのです。これからもお子さんに記入と提出を勧めて参ります。ご協力をいただくと幸いです。また、進路について悩んでいる場合もいつでも相談いただけます。臨時の二者・三者面談も実施しておりますので、お気軽にご連絡ください。

### ■ お友達紹介キャンペーン

12月12日～1月6日まで、お友達紹介キャンペーンを実施します。ご紹介いただいたお友達一名様につき、1000円分の冬期講習会割引券をプレゼント致します。(5人ご紹介いただいた場合は5000円分の割引券を差し上げます。)ご紹介いただいたお友達にも1000円分の冬期講習会割引券をプレゼントしますので、受講を考えているお知り合いの方がいれば、この機会にぜひご紹介いただければ幸いです。

個別指導とWEB授業の無料体験もご利用いただけますので、迷っているお知り合いの方がいれば、お気

軽にご連絡いただければと思います。

### ■ 12月中旬～1月の予定

【年月日】	【曜日】	【予定】
2011年12月19日	月	冬期講習会 第①ターム開始 (12/24迄の6日間)
2011年12月26日	月	冬期講習会 第②ターム開始 (12/29迄の4日間)
2011年12月30日	金	年末年始休暇 (1/3迄の5日間)
2012年1月4日	水	冬期講習会 第②ターム再開 (1/5迄の2日間)
2012年1月7日	土	冬期講習会 第③ターム開始 (1/12迄の6日間)
2012年1月14日	土	センター試験 1日目
2012年1月15日	日	センター試験 2日目
2012年1月16日	月	一月期開始(1・2年生)
2012年1月17日	火	直前講習 第①ターム開始(3年生)
2012年1月20日	金	最終出願面談① (3年生)
2012年1月21日	土	最終出願面談② (3年生)
2012年1月30日	月	二月期開始(1・2年生) 直前講習第②ターム開始(3年生)

- ※ 振替予定については「個人別授業予定表」を生徒にお渡ししておりますのでご参照ください。また、個別指導の科目変更や停止については、先生の組み合わせの関係上、各月期開始の15日前までにご連絡ください。
- ※ 高1生・高2生の三学期開始は、1月16日(月)からです。但し、1月期は月・木コース、火・金コースとも4回指導、2月期は通常通り7回指導です。(授業料は個別指導が11314円、WEB授業が8457円、個別+WEB割引が17029円となります。)
- ※ 高3生は1月の通常授業はありません。私大直前対策・国公立二次対策・個別指導の受講を希望する場合は、担当武田・佐々木までご確認ください。
- ※ 年末年始休暇期間は、完全閉館日となりますので自習室は使用できませんが、以降は2月末日まで自習室は毎日開館します。

大学受験に必要なあらゆる情報をご提供します。下記のアドレスまでご遠慮なくご連絡ください。

予備校クラブユニック

札幌市北区北37条西3丁目3-11 麻生駅徒歩2分

あさぶ現役部



011-299-1311



asabugenekibu@gmail.com



# 予備校クラスユニック あさぶ現役部通信

— 保護者の皆様方へ —

お子様の大学受験を成功に導くためには、保護者の方々との連携が大切であるという信念から、この通信を毎月発行させていただいております。時には辛口の内容もあるかとは存じますが、意のあるところをお汲み取りいただければ幸いです。お子様の志望大学「現役合格」を目指して、担任をはじめとするスタッフ一同、一生懸命に指導とサポートを致して行く所存です。何卒ご協力の程をよろしくお願い申し上げます。

## ■ 冬期講習受付開始！

### 《 高1生・高2生 》

受験まであと丸1年・丸2年を残すのみとなりました。冬の成果は春に出ます。クラスの冬期講習会を利用して、しっかりと受験準備をしていただければと考えております。

高1生・高2生が受講できる少人数制講義授業の講座もあります。高3生・浪人生と同じ授業を受講できるチャンスです。受験の雰囲気を実感してもらおうと共に、到達しなければならないラインを知ってもらえます。モチベーションを上げることもつながるはずですので、ぜひこの機会に受講してもらえればと思います。

また、冬期は学校の授業が進まないありがたい時期です。個別指導で、これまでの弱点を一気に補強することも可能です。学力を貯めることのできる時期ですので、しっかりと受験に向けて力を蓄えておいていただければと思います。

受講講座選択の際には**担任との面談**を行い、最善の受講科目を相談した上でお申し込み下さい。**12月7日(水)**までが在校生受講料割引特典申込み期限(受講料の10%割引特典)ですので、この期間までに申込みをお済ませ下さい。

### 《 高3生 》

受験生のラストスパート、冬期講習会の申し込みが始まりました。高3生にとっては、高校生活最後の総決算の時期となります。クラスの冬期講習会・直前講習会を最大限に利用し、合格という栄冠を是非勝ち取って欲しいと思います。これからのセンター・私大・二次試験までの期間でもっとも重要なのは、「やり切った感」です。この感覚を持たずに試験本番に臨むと、当日は不安感に飲み込まれてしまいます。そのためには、悔いのない勉強を、最後の最後まで継続することが、何よりも大切になります。

当校の冬期講習会は、12月19日(月)～1月12日(木)までの全18日間あります。第①ターム(12/19～

12/24)・第②ターム(12/26～12/29・1/4～1/5)は、持っている知識を実際の入試で出し切るための「実践講座」となります。最後の第③ターム(1/7～1/12)は、得点するのに必要な知識を総ざらいするための「総復習講座」となっています。全て浪人生に提供している、得点に直接結びつく講座ばかりですので、是非ご利用いただければと思います。

受講講座選択の際には**担任との面談**を行い、最善の受講科目を相談した上でお申し込み下さい。**12月7日(水)**までが在校生受講料割引特典申込み期限(受講料の10%割引特典)ですので、この期間までに申込みをお済ませ下さい。詳細は同封の冬期講習会パンフレットをご覧ください。直前講習会についても、冬期講習会と同様に内部生割引特典がありますので、担任までご相談下さい。

## ■ 後期三者面談(保護者面談)のご案内

### ○ 実施日時・場所

- ① 実施日：平成22年12月3日(土)、4日(日)のいずれか
- ② 面談時間：各20分
- ③ 面談担当者：生徒所属の担任(武田・佐々木)
- ④ 場所：現役部インフォメーション

### ○ 面談時間帯(両日とも)

9:00～9:20	11:00～11:20	14:00～14:20	16:00～16:20
9:20～9:40	11:20～11:40	14:20～14:40	16:20～16:40
9:40～10:00	11:40～12:00	14:40～15:00	16:40～17:00
10:00～10:20	13:00～13:20	15:00～15:20	
10:20～10:40	13:20～13:40	15:20～15:40	
10:40～11:00	13:40～14:00	15:40～16:00	

### ○ 申し込み方法

後期三者面談の申し込みは各担任に上記の時間帯のなかで希望日、時間帯を申し込み締切日までに電話にて直接申し込むか、または生徒から担任に申し込み連絡をお願いいたします。面談申し込み受け時間は9:00～21:00(土・日・祭日を除く)をお願いいたします。

### ○ 申し込み締め切り日

**11月30日(水)**までです。

## ■ センター試験に向けて(高3生)

保護者のための大学受験基礎講座、「受験生との賢い接し方」に多数の保護者の方々にご参加いただきました。誠にありがとうございました。

さて、いよいよあと2ヶ月で人生のターニングポイントに差し掛かります。最後まで気を抜かず、

試験ギリギリまで過信することなく「謙虚に」勉強を続け、試験前には逆に「こんなに勉強してきたのだから大丈夫」と言い聞かせ、「健全な精神状態」で受験をしてほしいと願い指導をしています。では健全な精神状態で臨むには何が必要なのでしょう？

### ① 睡眠 ② 正しい食生活 ③ 積み重ねた勉強量

精神的に追い詰められると、睡眠時間を減らす生徒がいます。しかし、それは逆効果です。睡眠時間が削られると、集中力の低下、記憶力の低下が起こり、結果として勉強効率が大幅に下がります。また「夜は静かで勉強しやすいから」と深夜になって勉強する生徒もいます。と昼夜逆転の生活リズムは精神のバランスを崩します。しっかりと自己管理ができてはじめて、勉強効率は上がります。「睡眠時間を削って…」は最も効率の悪い勉強方法と言えます。

次に食事に関してですが、食事は頭を正常に働かせるためのエネルギーを供給してくれます。勉強にはかなりのエネルギーを必要とします。しっかりと食事をとって、しっかり授業を受けて欲しいと思います。また、正しい食生活は脳の働きを活発にします。ご家庭でも、睡眠と正しい食生活を指導いただきますよう、お願い致します。

最後に積み重ねた勉強量です。これは一朝一夕とはいきません。試験1週間前に猛勉強したからと言って、今まで足りなかった勉強量を補えるはずもありません。毎日3時間の勉強を週に6日、3年間続けた生徒は、合計2800時間の勉強量をこなしたことになります。この生徒に100日間で追いつこうとすれば、毎日24時間、つまり毎日徹夜して100日間勉強しても足りません。コツコツと積み重ねた勉強量は、野球に例えるなら2000本安打のような貴重な数字です。「自分はこれだけやったんだ！」という自信があるから、試験本番で「よし、自分の力を思う存分にだそう！」と思えるのです。もしも、自分のやってきたことに自信がなければ、「ああ、まだあそこもやってないし、ここもやっていない。」という不安をいつまでも拭うことができません。自習室で過ごした勉強時間は、本物の自信を自分に与えてくれるのです。

これからの時期は、クラブの教職員・スタッフがお子様を叱咤激励する機会がどうしても多くなります。モチベーションが維持できなければ、試験に勝つことは出来ません。全てはお子様の志望校合格のためですので、意のあるところお汲みいただき、もうしばらくのご協力をいただくと幸いです。

### ■ 1年の決算期に向けて(高1生・高2生)

高2生には、今年のセンター試験の英語・数学・国語の問題を、模試として解いて欲しいと考えています。(センター同日模試を実施する予定です。)センター試験の出題範囲は、高校2年までに習う事項なので、主要3教科での合計得点は、これからの一年間の勉強の出発点と考えてもらうことができます。どんな模試よりも正確な判定が出ます。とりわけ、上位の国立大学や医学部を目指すのであれば、7割以上の得点率をスタートラインとしたいところです。

少なくとも、苦手分野は新学期前まで、つまり3月末日までには潰しておくことが重要です。そのためにも、入試までちょうど一年前の時点での不足している得点と苦手分野を確認しておく作業を、是非とも高2生にはやっておいて欲しいのです。

冬から春に向けて、横目で先輩方の奮闘努力の様子を見ながら、真の受験生へと変身を遂げてもらえれば嬉しい限りです。しかし、逆に高2生は最も浮き沈みの激しい時期でもあります。最終目標を絶えず目にするこ

とで、モチベーションを高く保つことができます。これからも無料の定期テスト対策授業や受験戦略の策定作業を通じて、最終目標である志望大学合格のためのサポートを行ってゆきます。ご協力の程をよろしくおねがいします。

高1生には、今年のセンターの英語と数ⅠAと現代文の問題を、模試として解いて欲しいと考えています。基本的な受験生としての考え方は高2生と同様ですが、まだ受験まではかなりの時間的なゆとりがあります。そのため、学校の定期テストを短期目標として設定し、その目標に向けた勉強を指導の柱としています。その点では中学時代までの塾と同じです。

しかし、その考え方は学年が進むにつれ変わってきます。出題範囲の広い実力テストに対応できる力や素早く解答を作成する力などが、高2・高3になると必要になってくるからです。

あさぶ現役部では、受験に必要な幹の部分を確認しながら、各高校の定期テスト対策の指導をしています。生徒によっては、先取り型の指導をする場合もありますし、補修型の指導をする場合もあります。しかし、それらは全て最終目標である志望大学合格へと集約して行きます。

定期テストで少しずつ自信をつけさせ、高い目標を達成するお手伝いをこれからも続けて行きます。何卒ご協力の程をよろしくおねがいします。

### ■ 11月中旬～12月の予定

【年月日】	【曜日】	【現役予定】
2011年11月12日	土	保護者のための大学受験基礎講座 入試直前の準備と心構え(14:00-14:50)
2011年11月19日	土	無料講習 センター数学ⅠAの解法(14:00-14:50)
2011年11月22日	火	12月期開始
2011年11月26日	土	無料講習 センター古文の解法(14:00-14:50)
2011年11月30日	水	後期三者面談申し込み締め切り
2011年12月3日	土	後期三者面談①
2011年12月4日	日	後期三者面談②
2011年12月19日	月	冬期講習会開始

※ 振替予定については「個人別授業予定表」を生徒にお渡ししておりますのでご参照ください。また、個別指導の科目変更や停止については、先生の組み合わせの関係上、各月期開始の15日前までにご連絡ください。

※ 高1生・高2生の三学期開始は、1月16日(月)からです。但し、1月期は月・木コース、火・金コースとも4回指導、2月期は通常通り7回指導です。詳細は年間行事予定表でご確認下さい。

大学受験に必要なあらゆる情報をご提供します。下記のアドレスまでご遠慮なくご連絡ください。

予備校クラブユニック 札幌市北区北37条西3丁目3-11 麻生駅徒歩2分

# あさぶ現役部



011-299-1311



asabugenekibu@gmail.com



## 予備校クラスユニック

# あさぶ現役部通信

— 保護者の皆様方へ —

お子様の大学受験を成功に導くためには、保護者の方々との連携が大切であるという信念から、この通信を毎月発行させていただいております。時には辛口の内容もあるかとは存じますが、意のあるところをお汲み取りいただければ幸いです。お子様の志望大学「現役合格」を目指して、担任をはじめとするスタッフ一同、一生懸命に指導とサポートを致して行く所存です。何卒ご協力の程をよろしくお願い申し上げます。

### ■ あさぶ現役部 HP が完成！

あさぶ現役部の HP がようやく完成しました。ブログには、スタッフの人柄を伝える趣味的なものから受験に関する真面目なものまで、面白くて価値ある情報を毎日更新して行きたいと思っております。まだまだ小さな HP ですが、応援をよろしくお願いいたします。

今後は大学受験情報、効率的な勉強方法、各教科の勉強方法、勉強の方法論、受験に関するリンク等、HP の内容を拡充させて行く予定です。「使える HP あさぶ現役部」を目指して、スタッフ一同頑張ります。

「あさぶ現役部」 ⇒ <http://www.classeunique.ac.jp/asabukan/>

※ 10 月中旬には完成しているはずですが、手直しのため部分的に工事中になっている可能性があります。その際はご了解ください。

### ■ グループ指導いよいよ開始

いよいよグループ指導が開始します。高三生の現状を考えると、どうしても通常授業では WEB 指導と個別指導を柱に講座を組み立てざるを得ません。無料企画講座では、その不足部分を埋めるために様々な勉強効率を高めるための講座を開講しました。しかし、お子様のヤル気が充満しているこの時期が、最も授業効率の高い時期であることは否めません。

この時期の短期集中講座には、先月号でお伝えしたように、国立二次対策のプレの意味合いがあることに

間違いはありません。

しかし、この時期の短期集中講座には、もう一つの意味があります。それは、残り時間が少なくなっていることを意識してきているこの時期が、最も勉強効率を高めることに熱心であるという点です。

この点も以前にお話ししたとおり、最も得点を伸ばす時間の使い方は、自分の勉強方法が確立しており、意志力の高い受験生であれば、自分で問題を解いて分からない部分のみを質問するやり方です。つまり集団個別 WEB 学習や個人指導(PL)が最適な仕組みと言えます。しかし実際には、勉強方法が確立しており、かつ意志力の高い受験生はまれです。

したがって、集団の中で刺激を受けながら、自分の現在の勉強方法の見直しをはかる作業が必要になってきます。それがグループ指導のもう一つの意味なのです。逆説的なのですが、自分一人だけの勉強では自分自身の勉強方法を確立することはできないのです。ゼミ形式の授業の中で、自分と周りの生徒との違いを発見し、その情報を先生と共有することで、より効果的な勉強方法のアドバイスをつかむことができます。

例えば英語の場合、ノートを取り方ひとつで勉強効率に大きな違いがでできます。自分のノートを他の生徒のノートと見比べるだけでも、自分の勉強方法を客観視することができるため、それだけで大きな効果があります。さらには、A 君・B 君・C 君のノートを、皆で一緒に見比べながら、先生がそれぞれの生徒に改善方法を伝えたとします。こうなるとその効果は絶大なものになります。

私の場合は生徒が音読添削(※)に来た時、次の順番を待っている生徒にも聞かせてやってくれと頼むことがしばしばあります。前の生徒にはプレッシャーを与え、待っている生徒には観察の機会を与えるためです。

このように、複数人の生徒がいるからこそ、高い効果がもたらされる授業形態がグループ指導なのです。

開講が決定した講座は先日お子様にお渡ししました用紙のとおりです。希望者が二名の講座が 5 つほどあり、現在は開講準備中とさせていただいております。10 月中に内部生・外部生の希望者を再び募り、三名以上になったものについては、11 月から開講したいと考えています。新規開講の講座については、お子様を通じてご連絡差し上げる予定です。また、ホームページの「特別授業のご案内」にも掲示致します。

※ 音読添削 : 英文を数行音読させて問題点を指摘することで、速読の力を養う指導方法です。内部生には無料で実施しています。

### ■ 自己管理の徹底と本番での得点

いよいよセンター試験まで 100 日を切りました。受験は勝負事です。どんなに途中の調子が良くても油断してはいけません。どんなに遠くてもあきらめてはいけません。毎日すべきことをきちんとこなすこと、それを継続することが何よりも大切です。

自己管理ノートは乱れがちな生活と精神を安定させてくれる最高のツールです。以前よりも人数は増えましたが、それでも自己管理ノートを継続して提出する生徒はまだ数名しかいないのが現状です。浪人生のほとんどの生徒がきちんとつけているのに比べると、これは非常に残念なことです。

「試験直前で焦る」「本番で力が出せない」「集中して勉強できない」「勉強時間が短い」などの悩みを抱えていない生徒は少ないはずですが、これからでも遅くはありません。自己管理ノートを書く癖をつけて、毎回通塾時に提出して欲しいと思います。必ずサインをしてその日のうちに返却しています。

体育会系の部活をしていた生徒に、「練習メニューやその日の反省をノートにつけていたの？」と尋ねると、半数の生徒はノートをつけていたと返答します。甲子園に出場する部活の部員なら、誰でも必ずしているはず

です。受験本番で力を出したいなら、高得点をとりたいなら、本気で勉強で強くなりたなら、志望大学に現役合格したいなら、自己管理ノートを書いて提出することを強くお勧めします。ご協力をよろしくお願い致します。

## ■ 高校時代の思い出 (1)

私は高校生の時、部活「命」であった。中学の時、練習がきつくてサッカー部をやめてしまったことは、拭い去ることのできない後悔として、心の中に深く突き刺さっていた。中学浪人していた時も、たとえどの高校に入学したとしても、一番強い体育会系の部活に入ると決めていた。

果たして高校に入学し、一番強い部活は硬式テニス部であることがわかり、すぐに入部した。その部がなぜ強いのかは、入部してすぐにわかった。部員 30 人以上に対してテニスコートは 1 面しかない。練習時間は授業後の 3 時間しかない。顧問の先生は生徒よりもテニスが下手だった。

こんな環境にも関わらず、全道大会で常に 2 位・3 位の成績をおさめていた理由は、そのシステムにあった。それは電波少年的にたとえるなら「アダムスミスの超自由主義経済的競争原理は神の見えざる手」とでも言うべきものだった。

毎月 1 回、1 年生から 3 年生までが試合をする。その中の優勝者と 2 位の者はシングルスおよびダブルスの選手となり、3 位から 6 位まではダブルスの選手、7 位と 8 位は補欠となる。その結果、練習時間の割り振りは上位 8 名で 3 時間を使い切る。9 位以下の者は上位者が休憩していて、コートを使わない時間のみ使用できる。その間約 10 分！

したがって、春には三十数人いた部員も、夏休み過ぎには十数名になる。3 年生は私が入学した時には 2 名しかいなかった。しかもその 3 年生は 1 位と 2 位ではなかったため、シングルスには出場できなかった。2 年生は 6 名いたが、秋に 1 年生に抜かれると 2 名に減った。それは当然で、学年に関係なく 8 位以内に入れなければ永久に「球拾い」のままなのだから。

このような環境の中で自然と練習は「自主的」なものになる。つまり、日曜日や昼休みなどのコートが使用されていない時を見計らって練習したり、アスファルトをコートに見立てた練習、サービスを壁に向かって打つ練習、地面がいらぬボレーの打ち合いなど、様々に工夫した練習方法を皆がしていた。また、引退した先輩以外誰も教えてくれないので、球拾いをしている最中に技術を「盗む」しかない。

体力面でも、1 年生から 3 年生までの全員が、毎週 1 回、無駄に広い敷地の周りをランニングするのだが、ここでもタイムが測られる。体力のないものはふるいにかけてられることになる。そこで、自らにランニングや腕立て伏せなどの基礎トレーニングを毎日課すことになる。

そしてこのシステムの最もすばらしいところは、超緊迫する月 1 回の「入れ替え戦」以外の全てのメニュー、練習時間の使い方、対外試合の申し込みなどは部長を中心とする「自主管理」であったことだ。

中学時代の管理された練習と比べると、練習内容ははるかに厳しいものであるにもかかわらず、「やらされている」苦痛が全くなかった。幸いにも私は 1 年生で 8 位以内に入れたが、その後も毎日の練習時間が 5 時間を切る日はなかった。全道大会での優勝を目指し、3 年間を費やしたが、結果は団体で 3 位、個人はベスト 16 で終わった。試合に負けてすがすがしいなどと思ったことは一度もなかったが、最後の試合だけは違った。

## ■ 高校時代の思い出 (2)

突然、神の雨が降った。それは高校 1 年の秋の新人戦、第二回戦の時だった。いつものごとく対外試合で実力が出せない。練習の時のショットが、サーブが、ボレーが、何もかもうまくいかない。スポーツ心理学の本を三冊も読んだ。技術もそこの奴よりはよっぽどある。体力にも自信がある。筋トレもしてきたし、持久力も陸上部並にある。でも結果がでない。

ゲームカウントは 0-3。サービスゲームを二つ落とした。次は相手のサービスゲーム。これを落とすと 0-4。ほとんど勝ち目がなくなる。

「何が悪いんだろう？」「どうしてレシーブが入らないんだよ。」「たいしたサーブじゃないの？」「なんでなんだよ。」意味のない自問自答が頭の中を駆け巡る。

その時急に、土砂降りの雨が降り出した。そして、試合は翌日に順延となった。

0-3 から試合が再開された。相手が信じられない凡ミスを繰り返す。ほとんど相手のダブルフォルトだけで、1 ゲームをとった。前日には夢にも思わなかった展開。

はたと気づいた。「自滅でしょ。」「手があんなに縮んでたら、サービスが入るはずないよね。」「ああ、あれが昨日の俺か。」「何てことはない、普通に打てばいいんだ。」

相手の姿に昨日の自分を重ねることで、客観的に自分を見ることを知った。自分を上にも下にも見ない、あるがままの自分を見る。勝手にありもしない自分を作り上げ、幻想に振り回される、それが「あがり」の実体だった。

「幽霊の正体見たり枯れ尾花」

それ以来二度と雑魚どもには負けなくなった。それ以来練習方法が変わった。それ以来怖いものがなくなった。神の雨に感謝。

## ■ 10 月中旬 ~ 11 月の予定

【年月日】	【曜日】	【現役予定】
2011 年 10 月 15 日	土	無料講習 センター物理の解法(15:30-16:30)
2011 年 10 月 27 日	木	11 月期開始
2011 年 10 月 29 日	土	保護者のための大学受験基礎講座 受験生との賢い接し方(14:00-14:50)
2011 年 11 月 3 日	木・祝	無料講習 センター化学の解法(15:30-16:30)
2011 年 11 月 5 日	土	無料講習 センター英語・整序問題の解法(15:30-16:30)
2011 年 11 月 12 日	土	保護者のための大学受験基礎講座 入試直前の準備と心構え(14:00-14:50)
2011 年 11 月 19 日	土	無料講習 センター数学 I A の解法(14:00-14:50)

※ 振替予定については「個人別授業予定表」を生徒にお渡ししておりますのでご参照ください。また、個別指導の科目変更や停止については、先生の組み合わせの関係上、各月期開始の 15 日前までにご連絡ください。

大学受験に必要なあらゆる情報をご提供します。下記のアドレスまでご遠慮なくご連絡ください。

予備校クラブユニック

札幌市北区北 37 条西 3 丁目 3-11 麻生駅徒歩 2 分

# あさぶ現役部



011-299-1311



asabugenekibu@gmail.com



## 予備校クラスユニック

# あさぶ現役部通信

### — 保護者の皆様方へ —

お子様の大学受験を成功に導くためには、保護者の方々との連携が大切であるという信念から、この通信を毎月発行させていただいております。時には辛口の内容もあるかとは存じますが、意のあるところをお汲み取りいただければ幸いです。お子様の志望大学「現役合格」を目指して、担任をはじめとするスタッフ一同、一生懸命に指導とサポートを致して行く所存です。何卒ご協力の程をよろしくお願い申し上げます。

#### ■ これからの勉強計画 — 各教科の勉強時間を割り振る

あと残すところセンターまで120日を切りました。これからは時間が貴重に思えてくる時期です。勉強計画を立てる際は、前回の模試の項目別得点を考慮に入れなければなりません。(項目別得点については、あさぶ現役部通信8月号の「模試の意味」をご参照ください。)

次にしなければならないことは、週の総勉強時間を確認することです。「自己管理ノート」が威力を発揮します。学校で授業を受けている時間は、自分の思い通りにはなりませんから、それ以外の勉強時間を足します。計画を立てる際は、その時間から数時間を引いておく必要があります。

例えば、学校以外での勉強時間が、全部で32時間だったとします。(月曜から金曜までは毎日4時間、土曜と日曜は6時間勉強すると32時間になります。)しかし、月に一度は模試がありますから、模試を受ける時間と模試の見直しの時間を除外しておく必要があります。一回の模試を受け、その見直しをしたとすると、約8時間はかかります。したがって、2時間は引いておく必要があります。他に、歯医者への通院のための時間や家の用事、さらには風邪をひいたりすることも考えあわせると、28時間で計画を立てるのが妥当でしょう。

次に、各教科の勉強時間の割合を考えます。例えば、Aさんの各教科の偏差値が英語48・数学48・国語60・生物40・日本史50・政経45だったとします。この生徒が樽商を受験する場合、どの教科も同じ偏差値だったとすれば、勉強時間の割合は配点割合に一致します。したがって、勉強時間は右の表の「偏差値勘案なし」の列になります。しかし、配点割合と偏差値を考慮に入れると、英語に多くの時間をかける必要がありま

そうです。最終的にはおおよそ「偏差値勘案あり」の勉強時間を1週間で割り振る計画を立てることになります。

この勉強計画は、次回の模試結果が出次第、練り直しの作業が必要になります。一般に苦手教科は、かけた時間の割に点数が上がらないので、より多くの勉強時間を割り振る必要が出てきます。

あさぶ現役部での最初の面接の際に、「こちらの塾では苦手科目の授業を受けて下さい。」と必ずお願いしています。この理由は、苦手科目はついつい後回しになってしまうことに加えて、間違った勉強方法を治せな

いたために、いつまでも苦手意識が抜けにくいからです。そして、この苦手意識や間違った勉強方法は、なかなか一人では改善できません。得意教科の場合は、その教科が好きで、あまりにも多くの時間を費やしすぎているのであれば、ある程度の成績を残せているはずなので、勉強方法を大きく手直すする必要はありません。(この点が浪人生の指導方法と大きく異なります。)

表を見ていただければ、どれだけ短時間で必要事項を覚え込まなければならないかをご理解いただけると思います。例えば、生物は1週間で2時間しか取れませんか、30分の勉強を週4日行う計画を立てることになります。受験勉強の8割は暗記です。忘れる割合を減らしつつ、知識を得点になる精度まで覚え込む作業に熟達することは、合格のための必要条件なのです。暗記の仕方や各教科の勉強方法について疑問点があれば、いつでも担当の佐々木・武田まで質問するよう、お子様に提案していただくと助かります。

	センター	二次	合計	配点割合	偏差値勘案なしの時間	偏差値勘案ありの時間
英語	200	200	400	28.6%	8.0	12.0
数学	200	100	300	21.4%	6.0	8.0
国語	200	200	400	28.6%	8.0	3.0
生物	100		100	7.1%	2.0	2.0
地理	100		100	7.1%	2.0	1.5
政経	100		100	7.1%	2.0	1.5
計	900	500	1400	100.0%	28.0	28.0

#### ■ グループ指導開始 — 二次対策は今しかない!

国立を志望している生徒の場合、二次の勉強は実質10月と11月しかできません。というのは、12月の声を聞くと、どうしてもセンターに気がとられてしまい、二次どころではなくなってしまふからです。二次が勉強できるのは、最も長くても冬期講習会前、すなわち12月の中旬までとお考えください。以前、京都大学の理学部を受験した生徒がいましたが、この生徒は例外的に1月初めまで二次の勉強をさせることにしました。というのは、センター:二次=1:4のため、センターの配点があまりにも低いからです。東大と京大と教育大系の実技重視の大学を除けば、センターを軽視できる大学はほとんどありません。したがって、この2か月間で二次の一応の形を作り上げ、センター試験後の約1か月の直前期に最終仕上げをするのが、現役生にとってのベストの攻め方となります。

グループ指導授業は、クラスユニックで本科生を教えている講師が担当します。北大・樽商・札医・旭医・帯畜・道教大をはじめとする国公立大学、さらには早稲田・中央・北海・北星等の道内外私立大学へ、毎年数多くの生徒を導いている先生たちです。講義だけでなく、演習や添削を交えたものとなっていますので、絶対の自信をもって受講をおすすめします。

現在、保護者の方々や生徒本人に対するアンケートを実施している最中です。(高3生及び高3生の保護者の方のみに配布しております。)このアンケートをもとに、開講講座と開講日時を9月下旬までに決定します。詳細については、内容がまとまり次第、お子様を通じてお知らせしますので、もしばらくお待ちください。

<裏面へ>

## 《 開設可能講座ラインアップ 》

- 北大二次理系数学 □ 北大二次英語 □ 北大二次国語 □ 北大二次物理 □ 北大二次化学 □ 北大二次生物
  - 樽商二次数学 □ 樽商二次英語 □ 樽商二次国語 □ 道大大小論文 □ センター英語長文 □ センター現代文
  - センター古文 □ センター漢文 □ 道内私大英語 □ 道内私大現代文 □ 道大総合問題対策
- ※ アンケートで希望者が3名以上いる場合は、希望講座を開講する場合があります。

### ■ 札幌医科大学説明会 — 9月12日クラブ本校にて開催されました！

昨年度は弘前大学、山形大学、明治大学、立教大学等の説明会をクラブ本校で開催致しました。今年度は9月12日(月)の18:10~19:10、麻生本校 C03 教室にて、札幌医科大学説明会を開催しました。講演者は札幌医科大学・医療人育成センター・入学者選抜企画研究部門の三瀬さんでした。

家庭通信が14日送付で12日の開催連絡に間にあわなかったため、9月9日までに担当佐々木より直接生徒本人の申し出受付を行いました。選抜要綱やホームページにはない貴重な情報を、入試担当者からじかに得られるまたとない機会です。今後もこのような催しには日時の合うものについて生徒に広報していきたいと考えています。

### ■ 保護者のための大学受験基礎講座 — 多数のご参加、ありがとうございました

8月27日(土)に、第1回の保護者のための大学受験基礎講座を開催したところ、17名を超える保護者の方々の参加をいただきました。お忙しい中、誠にありがとうございました。心より感謝致します。

この催しを開催した目的のひとつは、常々あさぶ現役部通信の中で述べさせていただいている通り、大学受験は生徒本人だけの問題ではないことを、認識していただくことでした。加えて、大学受験は保護者との連携なしには成功しないことを、改めてご理解いただければと考えました。さらには、当塾は小さいながらも大学受験予備校を母体としているため、高校との連携や大学との連携を通して、様々な受験情報を得ることができる立場にあり、皆様に有用な受験情報をご提供できることを知っていただければ考えました。

情報部の職員は、全道の高校の進路指導の先生方や、大学の入試担当の関係者との情報交換を年に何度も行っています。大学受験の一つの側面として、確かに「情報戦」と呼べる部分があります。

センター試験直後の浪人生の生徒状況把握会議では、全ての生徒の出願先を全職員で話し合います。例えば、道大の札幌校に得点が届かなかった生徒の場合、各分校の出願状況と倍率から、函館校にするか、それとも釧路校にするか、はたまた弘前の方が有利なのか、といった話し合いがなされます。このような進路指導の最終局面では、事前に収集しておいた情報が重要な価値を持ちます。

私(武田)も今春、情報部の職員とともに、北・南・西・東・開成・国際情報・手稲・新川・北陵・石南・篠路・東陵・平岸・白石・厚別・北海・光星・藤・第一・尚志・静修・北海学園札幌・大谷等の高校の進路指導の先生方とお会いし、貴重な情報をいただくことが出来ました。

今後の保護者のための大学受験基礎講座につきましては、10月29日(土)に「受験生との賢い接し方」を、11月12日(土)に「入試直前の準備」を予定しております。前回と同様、講義日が近づきましたら、講座概要と参加・不参加をお知らせいただく用紙を、お子様を通じて配布致します。参加を心よりお待ちしております。

### ■ 高1高2生のテスト対策授業 — 楽しさと厳しさが同居する空間

高1・高2生の定期テスト対策無料補習が開始となりました。私事ですが、先日ビクトリアでランチを食べながらこの通信の草案を練っていると、学校のテスト時期らしく、多くの高校生たちが午後イチから勉強していました。しかしながら、ほとんど女子だったこともあり、どう見ても勉強にはなっていません。楽しそうにキヤーキヤー言う時間が5分、問題集を眺める時間が1分、またキヤーキヤー言う時間が5分…。これでは勉強になりません。くつろぐのであれば、勉強道具など出さずに皆でしゃべっていただければいいのです。実際、そのように時間を使っているグループもあり、そちらの方がよほど賢いと思いました。もしも、喫茶店で勉強するなら、友達と一緒にではなく絶対に一人で行くべきです。

夕方になって、G02教室で勉強している高1高2生の姿を見てとホッとしました。きちんと真面目に勉強しているからです。勉強だけに全ての時間を費やせと言っているわけではありません。勉強する時は「きちんと真面目に」勉強するべきです。

これは勉強に限ったことではありません。「きちんと真面目に」部活に取り組むべきだし、「きちんと真面目に」クラス活動や生徒会活動に取り組むべきです。本当の楽しさは、厳しさや真面目さの先にしかないと思います。「目先の楽しさ」は「本当の楽しさ」には敵いません。高1高2生にとって、あさぶ現役部が「本当の楽しさ」を味わうことができる、楽しく厳しい空間となるよう、今後も一層努力して行きたいと考えています。

### ■ 9月中旬 ~ 10月の予定

【年月日】	【曜日】	【現役予定】
2011年9月17日	土	無料講習 センター英語・図表問題の解法(15:30-16:30)
2011年9月19日	月・祝	無料講習 北海・北星英語・短設問の解法(15:30-16:30) 開館時間 9:00~17:00
2011年9月23日	金・祝	開館時間 9:00~17:00
2011年9月29日	木	10月期開始
2011年10月8日	土	無料講習 センター評論の解法(15:30-16:30)
2011年10月10日	月・祝	開館時間 9:00~17:00
2011年10月15日	土	無料講習 センター物理の解法(15:30-16:30)
2011年10月27日	木	11月期開始
2011年10月29日	土	保護者のための大学受験基礎講座 受験生との賢い接し方(14:00-14:50)

※ 振替予定については「個人別授業予定表」を生徒にお渡ししておりますのでご参照ください。また、個別指導の科目変更や停止については、先生の組み合わせの関係上、各月期開始の15日前までにご連絡ください。

大学受験に必要なあらゆる情報をご提供します。下記のアドレスまでご遠慮なくご連絡ください。

予備校クラブユニック

札幌市北区北37条西3丁目3-11 麻生駅徒歩2分

# あさぶ現役部



011-299-1311

asabugenekibu@gmail.com



# 予備校クラスユニック

# あさぶ現役部通信

## — 保護者の皆様方へ —

お子様の大学受験を成功に導くためには、保護者の方々との連携が大切であるという信念から、この通信を毎月発行させていただいております。時には辛口の内容もあるかとは存じますが、意のあるところをお汲み取りいただければ幸いです。お子様の志望大学「現役合格」を目指して、担任をはじめとするスタッフ一同、一生懸命に指導とサポートを致して行く所存です。何卒ご協力の程をよろしくお願い申し上げます。

### ■ 勉強習慣 — 人間は習慣の動物・良い事も悪い事も習慣化する

夏休みが終わるとセンターまで150日を切るようになります。全ての事柄に通じるはずですが、「継続は力なり」の格言は、受験勉強にも120%通じます。

「継続」とは、時間的・精神的に安定した状態の中で、ある事柄を努力することです。これから秋に向けての時期、模擬試験の回数も増え、受験生はどうしても精神的に不安定になります。無駄に焦ったり、不確かな情報に振り回されたりしがちです。「もうダメだ。」と心が折れてしまう時もあります。

そんな時に一番大切なことは、どんなに精神的に不調な日でも、短時間でも勉強を「継続」することです。そのための最大の策は、自習室を使いこなすことです。ここに来たら勉強するしかありません。当たり前ですよ。しかし、自宅は勉強以外のこともしなければならない場所です。お風呂に入ったり、ご飯を食べたり、テレビを見たり、寝たりもする場所です。図書館の自習室も勉強以外に使用している人もいます。しかし、あさぶ現役部の自習室で、受験勉強以外の作業をしている人はいません。さらには、自習室前に貼ってある、自分で書いた合格絵馬を毎日見て、ヤル気を充填することもできます。

高校での授業が終了したら、現役部に来てください。閉館までの3～4時間が、確実に毎日の受験勉強の時間になります。気分が乗らなくても構いません。多少効率が悪くても構いません。習慣化の力を利用して、まずは物理的な勉強量を確保しましょう。(それができたら、自己管理ノートで「効率」をいかに高めるかの、本当の勝負に入ることができます。)夕食も軽いものならば、パンやカップ麺の自販がありますので、ラウンジでとることができます。

先月・先々月の通信でもお知らせしましたように、後期からは年末・年始の4日間を除き、2月29日まで、毎日開館することに致しました。土曜・日曜・祭日を含む毎日、WEB授業とPL授業が受けられ、自習

室が利用できます。現役合格を強力にサポートするために、「毎日開館・毎日授業・毎日自習」を目指して、これからもさらに進化してゆく所存です。是非とも、あさぶ現役部を徹底的に利用して、現役合格を勝ち取っていただきたいと思っております。お子様には、自習室他の施設・サービスの利用を、積極的に勧めさせていただけると幸いです。

### ■ 模試の意味 — 現在の状態を確認するための健康診断

高三生はこれから模試が最低一月に一回、多ければ二週間に一回のペースで行われ、その結果が続々と返ってきます。判定が良くなかった生徒の場合、「志望大学を変えた方がいいのかな?」「このままで間に合うのかな?」などという不安が頭をよぎることでしょう。しかし、所詮模試は練習試合です。本番ではありません。この言葉は、慰めのために言っているわけではありません。逆に、模試で判定が良かった生徒にも、この言葉はあてはまります。「やった～。これでもう大丈夫だ。この調子で普通にやっていたら、何とかなる。」などと思ったら、大間違いです。ここから、ライバル達は着々と作戦を練り、合格ラインを突破するための努力を継続して行くのです。

合格判定に一喜一憂しないでください。それよりもきちんと項目別得点をチェックすることです。得点が低い分野を分析し、次回の模試までにその対策を練り、結果を出すように努力します。克服できた点と出来なかった点を確認し、さらに次の模試へと進みます。

成績が良かった生徒は、逆に要注意です。「なぜかわからないが点数は取れる。」は非常に危険です。これからはプレッシャーのかかる時期になります。そんな時に「なんとなく…」では、不安がどんどん増幅していきます。

苦しんで成績を伸ばした生徒の方が、最後には笑って受験を迎えることができます。どういう理由で点数が良くて、どういう理由で点数が悪かったのか、反省して次につなげる勉強をしたからかもしれません。

模試は、見直しをもとにしっかりと自己分析する必要があります。模試結果が出たら、または生点でも結構ですので、すぐにあさぶ現役部の担任まで、結果を知らせてください。(コピーしてすぐにお返しします。)的確なアドバイスをその場でお渡しします。次回の模試に向けて、より緻密な計画が練れるはずです。是非、ご利用ください。

#### 【項目別得点表例】

数学① — 数学IA				
設問番号	内容	配点	得点	全国平均点
1	方程式	10	6	5.5
1	集合・論理	10	6	4.8
2	2次関数	25	9	16.5
3	平面図形	30	6	13.9
4	確率	25	2	11.1

#### 【1ヵ月で25点UPを目指す計画例】

苦手分野だけを平均点まで伸ばした方が、最初の単元から順に勉強するよりも、確実に最短距離でボーダーラインに近づけます。

- ① 確率 2点 ⇒ 11点 +9点
- ② 2次関数 9点 ⇒ 17点 +8点
- ③ 平面図形 6点 ⇒ 14点 +8点

## ■ 現役合格のためのサービス — 授業だけで合格できるわけじゃない！

### 進路相談・三者面談（無料）

模試成績表を持って来てもらえれば、いつでも合格設計図、勉強計画の策定のお手伝いをします。（夏期講習会に参加いただいた遠隔地の方の場合、PDFを添付したメールかFAXで模試の画像データを送信していただければ、メールかお電話でお返事を差し上げます。）

精神的な悩みがある時も、いつでも、相談に来てもらって構いません。受験は勝負事です。辛く苦しい時期が必ず訪れます。一人で考え込むのではなく、数多くの先輩の実例をお話しすることで、客観的に自分を見られるはず。遠慮なく進路相談をご利用ください。また、保護者の方との三者面談も随時お受けできますので、担当の武田までご連絡ください。

### 高1・高2定期テスト対策補習（無料）

受験学年を迎える高3生になると、実際には受験では使わないのに、単位を取得するためだけに勉強しなければならぬ科目が出てきます。また、ふた周り目の演習授業の場合は、先月号でもお話ししましたが、習熟度別になっていないスクール形式の全体授業では、どうしても勉強効率が悪くなってしまいます。

しかし、高3生と異なり、高1・高2生の場合は、学校の定期テストの出来は、ダイレクトに受験に関係します。なぜなら、まだ何も習っていない状態から、スクール形式の授業を受け、その内容を理解し、さらには定着する作業が、高1・高2生の定期テストの意味だからです。8月・9月も無料で実施しますので、是非ご利用ください。ご不明の点があれば、担当の佐々木までお問い合わせください。

### 英語添削講座（無料）

自由論述型英作文の添削指導と、速読のための音読添削指導を行っています。とりわけ音読添削指導は、現在の授業形態の中では力を付けるのが難しい、速読力強化のための特効薬です。ぜひご利用いただければと思います。担当の武田までお申し付けください。

### 企画講座（無料）

50分間の授業で勉強効率を大きくアップさせるための方法論を学びます。8月・9月も様々な企画講座を準備しました。いずれも受験に有用な知識と、その実際の使用法について触れたものです。（講座内容については、8月・9月の予定をご参照ください。）

また今月と来月に、保護者のための公開講座を企画致しました。内容の詳細については現在準備中です。出来上がり次第、講座内容と参加・不参加をお尋ねする用紙を、お子様に配布致します。もうしばらくお待ちください。

### グループ指導（有料）

通常授業だけではカバーできない、北大理系数学の傾向分析&対策・北大英語の傾向分析&対策・樽商二次英作文対策を開講予定です。開始時期は9月下旬を予定しています。また、センター現代文速読・センター英語の傾向と対策も、希望者の数によっては開講する可能性があります。

料金は全4回の講座で6300円、全8回の講座は12800円となっています。詳しくは来月号の通信でお知らせします。

### 自習室の毎日開館（無料）

勉強習慣の項目でも触れましたが、自習室は開館時間内であれば毎日利用できます。当たり前のように思われるかもしれませんが、受験勉強のための「場」が確保されていることは、何にもまして大切なことだと思います。さらには、WEB授業・PL授業が土・日・祝日も受けられるようになったため、これまで解決できなかった、勉強する気があっても時間的な制約から勉強できない、という非常に大きな問題点が消失しました。

したがって、「ちょっと時間的に都合がつかないから、塾に通えない（から勉強ができない）。」「自習室が込んでいるから、（疲れたらテレビも見られる）家で勉強した方が良い。」等という甘い言い訳を断ち切ることができるようになったため、本当に価値のある努力へとお子様を向かわせることができるようになりました。物理的時間から効率的時間の利用へという、浪人生では4月か5月には到達できていた領域に、ようやく追いつくことができるのです。

「今日は塾に行かなくていいの？」と毎日声をかけていただけると助かります。

## ■ 8月・9月の予定

【年月日】	【曜日】	【現役予定】
2011年8月12日	金	夏期講習第4ターム終了
2011年8月13日	土	お盆休暇開始 8月16日迄
2011年8月17日	水	8月期開始（月木授業は18日・火金授業は19日から開始）
2011年8月20日	土	土・日・祝日を含め毎日開館開始 12月30日迄
2011年8月21日	日	下手な自己管理の仕方（15:20-16:10）
2011年8月27日	土	保護者のための大学受験基礎講座（14:00-14:50）
2011年9月1日	木	9月期開始
2011年9月4日	日	アホな模試の利用法（15:20-16:10）
2011年9月10日	土	保護者のための大学受験基礎講座（14:00-14:50）8/27と同じ内容です

※ 振替予定については「個人別授業予定表」を生徒にお渡ししておりますのでご参照ください。

**大学受験に必要なあらゆる情報をご提供します。下記のアドレスまでご遠慮なくご連絡ください。**

予備校クラブユニック

札幌市北区北37条西3丁目3-11 麻生駅徒歩2分

# あさぶ現役部



011-299-1311



asabugenekibu@gmail.com



## 予備校クラスユニック

# あさぶ現役部通信

— 保護者の皆様方へ —

お子様の大学受験を成功に導くためには、保護者の方々との連携が大切であるという信念から、この通信を毎月発行させていただいております。時には辛口の内容もあるかとは存じますが、意のあるところをお汲み取りいただければ幸いです。お子様の志望大学「現役合格」を目指して、担任をはじめとするスタッフ一同、一生懸命に指導とサポートを致して行く所存です。何卒ご協力の程をよろしくお願い申し上げます。

### ■ 前期三者面談を終えて — 受験戦略と受験相談

去る7月2日と3日に三者面談を開催致しました。74%もの保護者の方に来ていただき、これからお子様の指導をしてゆく上での貴重な情報を数多くいただきました。非常に感謝しております。どうもありがとうございました。当塾では、年に二回、お子様の指導方針をお話するための三者面談の機会を設けております。十二月には最終受験校決定のための後期三者面談があります。次回も是非ご参加ください。

三者面談の主題は、当然、第一志望大学の突破のための受験戦略(合格設計図)の話となります。しかし、それ以前に、大学卒業後の進路を考えさせる作業もまた、非常に重要です。なぜなら、大学受験は将来の職業を定め、経済的自立を目指す点において、一生の中でも重要な分岐点だからです。大学を偏差値だけで選ばせるのではなく、自分の特性と学部・学科を考えさせることが大切です。大学中退者の三割は、学部・学科の選択ミスが原因なのです。

また、経済的な問題もしっかり考えておく必要があります。自宅通学と寮・下宿とでは大きく費用が違ってきますし、奨学金や大学院進学費用なども計算しておく必要があります。例えば、自宅から私立大学に通学するのではなく、地方の国立大学の寮に入り、あとは奨学金とアルバイトだけで生活するという計画を立て、その通りに実行した生徒もいました。(弘前大学の寮は食費込みで格安だそうです。)この点からも、大学受験は、本人だけの問題ではなく、保護者の方を含めたご家庭全体の問題として捉えるべきだと思います。

「学部・学科の特色がよく分からない。」「どの学部に行きたいかよく分からない。」「奨学金や寮費で学費を賄う方法はないのか。」等、進路についてのご相談は、いつでも受け付けております。進路相談は、本人と保護者の方にとって、何よりも重要なサービスであると考えております。浪人生の指導で培ってきた生きた受験情報を活用し、誠心誠意のアドバイスをさせていただきます。来校いただく時間がない場合は、お電話でも結構ですので、担当の佐々木・武田まで遠慮なくご連絡ください。

※ 合格設計図と受験戦略：合格設計図はひとつの大学に対する工程表です。それに対して、受験戦略は、将来の進路の方向性を見据えた上で、複数のターゲットを想定して、最終的な出願大学の併願パターンの策定にまで至る、全体の流れを含んだ、より上位の概念と言えます。

### ■ 「夏」の受験勉強の考え方 — 非スクール形式

大学受験は時間との戦いです。夏は時間があります。ですから、夏は最大にして最後の大きなチャンスと言えます。これが誇張でないことは、客観的に時間を数えれば分かります。夏休みは1日12時間受験勉強ができます。しかし、夏休みが終わると、受験に直結しない教科も勉強しなくてはなりません。また、自分の苦手分野だけを潰すやり方も学校では不可能です。おそらくは、最大で1日6時間程度しか、実になる勉強はできなくなると思います。しかしこれは生徒が悪いわけではありません。少し長くなりますが、以下に理由を説明します。

スクール形式、高校で行われている講義による全体授業の形式は、一人の教員が30人~40人の生徒を指導できるので、経済効率が低いという利点があります。これはラサール会の創始者であるフランス人のラ・サールが考え出した授業形態です。それまでは貴族の子弟に対する一対一の授業形態のみが行われていましたが、授業料を安くして平民にも教育を受けさせたいと考え、彼がこの授業形態を考案しました。

この授業形態には他の利点もあります。教室内の他者と比較・検討する授業が行われた場合、自分の課題を客観的に発見し、学習の方法論を確立する助けとなります。さらには、集団の力を生かす形で行われた場合には、感情的なモチベーションを上げるという、巨視的な効果が期待できます。

しかしながら、もしも十分なモチベーションがあるならば、スクール形式の授業は無駄が多いと言わざるを得ません。なぜなら、教員はクラス全員に向けて授業をしなくてはならないので、Aさんは知っているが、Bさんが知らない内容を、Aさんにとっては不要だと感じながらも、話さなければならぬからです。すなわち、クラスの真ん中にあわせた授業をするならば、最上位の生徒は知っていることばかりで聴く内容が何もないし、最下位の生徒は先生が何を言っているのか全く分からないので、話を聞くのがつまらなくなります。これは仕組みの問題なので、生徒のせいでも教員のせいでもありません。(この弱点を克服するための方策が、クラブの浪人生の生授業で実施されている習熟度別クラス分けです。)

さて、受験生の皆さんは「夏」には十分なモチベーションを持っているはずですが、そして、「夏」には時間があります。第一志望大学突破に向けて、どのような勉強をすればよいのでしょうか？

答えは、やはり個別の中にあります。自分の苦手な部分だけを潰して行く勉強が最も効率的です。スクール形式の授業では、自分が既に分かっている単元も皆と同じように勉強しなくてはなりません。また、自分が分からない単元でも、皆が分かっている場合は、素通りされてしまいます。

高校の夏期講習はスクール形式のほうです。ですから、あさぶ現役部では、非スクール形式の授業を中心に受講してもらいたいです。昨年度まではPL(1:1)とTAI(1:2)の個別指導しかありませんでしたので、どうしても価格を下げることはできませんでした。しかし、今年度からは集団個別WEB授業があります。これはコンピュータの中の隠れた先生と、いつでも質問できる監督者の先生からなる、テクノロジーの進化を生かした超効率的かつ安価な個人指導なのです。

例えば、私が自分自身の授業をビデオカメラに録画したとします。この画像を生徒に見てもらいます。自分の苦手な分野のみを視聴し、分からない部分があれば、直接私に質問してもらいます。得意な部分は後回しにして、次は他の教科の苦手分野を勉強します。こうすれば、あっという間に全ての教科の苦手分野が潰れて行きます。これが、最も効率の高い授業形態のはずです。しかし、この授業形態だけでは難しい部分がありますので(特に、英語の長文と現代文の読解)、少人数制・対話型・ゼミ型授業で補完をします。これがグループ指導です。

生徒の特質・時間・価格の三要素を考えて、指導形態の組み合わせを、受験戦略をもとに担任が生徒毎にカリキュラム作成するという考えは、10年以上も前から暖めてものですが、テクノロジーの進化とは恐ろしいもので、これが実現できる時代になってしまいました。

夏期講習の申し込みは7月13日(水)までとなっております。追加の申し込みもまだ可能です。100点、200点と大きく成績を伸ばすためには、どうしてもこの超効率的な授業形態である集団個別WEB授業を利用して欲しいのです。特に国立型の受験生にはこれからも受講を勧めて行きたいと考えております。ご理解とご協力をいただければ幸いです。

※ WEBコンテンツにつきましては、下記のアドレスで体験版をご覧ください。しかしながら、WEBを単に生徒に視聴させるだけでなく、WEB授業中の個別指導と、どんな質問に対しても回答をお約束できる授業形態は「あさぶ現役部」だけのオリジナルです。

<http://www.sanaru-net.com/sanachan/index.asp?id=3>

## ■ 8月期と1月期の授業料についてのお詫び

8月期の授業料は、個別指導が19800円ではなく11314円、WEB授業が14800円ではなく、8457円、個別+WEB割引が29800円ではなく、17029円になります。(全て4/7の授業料となります。)もっと早くにご連絡を差し上げるべきでしたが、連絡が遅くなってしまいました。ご迷惑をおかけして、申し訳ありませんでした。なお、1月期の授業料も8月期と同額になります。よろしくお願ひ致します。

※ 前月謝制となっておりますが、郵便引き落とし等の都合により、実質的に後月謝になっている場合があります。ご請求額の手紙の「月」をご確認ください。

## ■ 後期は毎日開館、だから、毎日勉強できます！

先月号でもお知らせしました通り、後期の年間行事予定を大幅に改定させていただきました。旧年間行事予定では、日曜日は休館日で利用できませんでした。これでは忙しい高校生は勉強できません。そこで後期からはお正月の4日間を除き、2月29日迄、毎日開館することに致しました。

土曜・日曜・祭日を含む毎日、授業が受けられ、自習ができるようになります。(TAIを除くWEB授業とPL指導。)WEB授業の授業時間と回数は、従来90分×7回だけでしたが、より効率的な勉強ができるように、45分×14回の形も選択できるようにしました。

お子さんが自宅でなかなか勉強が進まない様子の時、「塾で勉強したら？」とひとこと声をかけてあげて

下さい。学習環境はとても重要です。テレビや漫画やゲーム等の誘惑のない場所や空間で、2~3時間勉強してから自宅に戻って勉強すれば、気分もリフレッシュできるはずですよ。

「塾の往復時間がかからない。」と言う生徒もいますが、時間をかけて通塾するからこそ塾での学習時間を充実したものにでき、指導者のいる環境だからこそ、学習上の疑問をその場で解決できるという、高校生にとっての大きなメリットがあると思います。自転車やバスに乗ることで気分転換を図ったうえで、自習室で集中して勉強する、といった良い習慣を是非身につけてほしいと思います。

## ■ 定期テスト対策 大成功！

高1・高2生の定期テスト対策補習の結果は非常に満足の行くものでした。これからも、毎回の定期テスト時期には、この無料補習授業を行います。これからは焦る受験生の後ろ姿を間近に見ることになります。受験準備を怠りなく進めて行けば、とても大きな成果を必ず得られます。これからはしっかりと、学校で首席を取れるようになるまで、どんどん成績を伸ばして行って欲しいと思います。

## ■ 7月・8月の予定

【年月日】	【曜日】	【現役予定】
2011年7月13日	水	夏期講習申し込み〆切
2011年7月15日	金	7月期終了
2011年7月18日	月	第1ターム夏期講習開始 7/23迄
2011年7月25日	月	第2ターム夏期講習開始 7/30迄
2011年8月1日	月	第3ターム夏期講習開始 8/6迄
2011年8月8日	月	第4ターム夏期講習開始 8/12迄
2011年8月17日	水	8月期開始・土日祝開館開始

※ 振替予定については「個人別授業予定表」を生徒にお渡ししておりますのでご参照ください。

## ■ 無料で質問できます

月～金曜日の17:00～18:00はインフォメーションで、英語・数学の質問が自由にできます。個別授業で使用していない教材を持って来てもらっても構いません。先生方をできるだけ上手に利用して欲しいと思います。

大学受験に必要なあらゆる情報をご提供します。下記のアドレスまでご遠慮なくご連絡ください。

予備校クラブユニック

札幌市北区北37条西3丁目3-11 麻生駅徒歩2分

あさぶ現役部



011-299-1311

asabugenekibu@gmail.com



## 予備校クラスユニック

# あさぶ現役部通信

— 保護者の皆様方へ —

お子様の大学受験を成功に導くためには、保護者の方々との連携が大切であるという信念から、この通信を毎月発行させていただいております。時には辛口の内容もあるかとは存じますが、意のあるところをお汲み取りいただければ幸いです。お子様の志望大学「現役合格」を目指して、担任をはじめとするスタッフ一同、一生懸命に指導とサポートを致して行く所存です。何卒ご協力の程をよろしくお願い申し上げます。

### ■ あさぶ現役部通信の発行に向けて

今月号から「クラブ通信 麻生夜間部用」改め、「あさぶ現役部通信」という名称で、この通信を送付させていただきます。浪人生に付属した部門ではなく、あくまでも現役合格を目指す独立した一部門として、生徒指導を含めた全てのサービスを見直し、さらなる内容の充実を図ります。まだまだ小さな部隊ではありますが、予備校クラスユニックのノウハウをもとに、他のどこにも負けない実績と内容を誇る現役生のための塾を目指しております。システムの変更等で、何かとご不便をおかけすることがあるかとは存じますが、これからもお子さんの第一志望合格に向けて、スタッフ一同できる限りの努力をしてゆきたいと考えておりますので、よろしくお願い致します。

### ■ 天下分け目の夏期講習、申し込み開始

夏期講習の申し込みを開始しました。受験生にとっての天王山、夏期講習は7月18日から開始です。今年度は、8月8日～8月12日までの期間、現役生のみが受講可能な第4タームを設けました。（日程と講座の詳細については、夏期講習パンフレットをご覧ください。）

受講講座決定の際は、慎重にも慎重を期していただきたいと思っております。この時期に、どの教科をどれだけ仕上げるのか、どの位の得点が取れるまでに仕上げておくのかは、生徒一人ひとりの合格設計図によります。合格設計図に基づかない講座選択は、逆効果になる場合すらあります。あまりにも欲張った計画のせいで、消化不良をおこしてしまったのでは、折角の時間とお金が無駄になってしまいます。また、学校の講習との兼ね合いで、ある教科は学校で、ある教科は塾で徹底的に潰すというような作戦を立てる必要性も出てきます。したがって、夏期講習受講教科につきましては、必ず担任との面談をした上で申し込みいただきますよう、よろしくお願い致します。三者面談時に来校いただければ、その折にご相談いただくことも可能です。是非ご利用ください。

### ■ 夏期講習申し込み方法

申し込み期間：6月13日（月）～7月13日（水）※10%の内部生割引特典適用7月6日（水）まで

- 郵便局自動引き落とし手続きを行っている方は、7月6日（水）までに「夏期講習申し込み用紙」のみ出して下さい。引き落とし日は7月22日（金）です。
- 郵便局自動払い以外の方は、「夏期講習申込書」に「受講料」を添えてのお申込みとなりますが、銀行振込（北洋のみ）をご希望の方は振込手数料無料の振込用紙をお渡します。
- 「夏期講習申込書」を先に提出する場合は、受講料を7月6日（水）までに納入いただくと、内部生割引特典が適用されます。（受講料納入が諸事情により遅れる場合は、事務局までご連絡下さい。）後日少人数制生授業の講座を追加した場合であっても、内部生割引特典は適用されます。
- PL・TAI・WEBについては割引特典がありませんで締切期日以降の申込みも可能ですが希望者が多い場合には思った時間帯が取れない等がありますので、やはり早めの申込みをお勧めいたします。

各講座は定員となり次第、申し込みを締め切らせていただきます。お早目にお申し込みください。

### ■ 前期三者面談(保護者面談)のご案内

前期三者面談を下記の要領で行います。今回はお子様の校内学習状況を基に、担任・保護者・本人の三者で今後の勉強の方向性について具体的にお話する個別面談です。お忙しい中とは存じますが、どうかご出席下さいますようお願い致します。尚、当校の担任と生徒とは事前に二者面談をしておきますので、当日面談の前に保護者の皆様とお子様との話し合いも是非行って頂きたいと思っております。

<実施日時、場所>

- ① 実施日：平成23年7月2日（土）・3日（日）のいずれかです
- ② 面談時間：各20分位
- ③ 面談担当者：生徒所属の担任
- ④ 面談場所：あさぶ現役部 D01 教室（1F）
- ⑤ 待合室：あさぶ現役部 G02 教室（2F）
- ⑥ 生徒自習室：あさぶ現役部 C01 教室（1F）

<面談時間帯>（両日とも）

9:20～9:40	10:20～10:40	13:40～14:00	16:00～16:20
9:40～10:00	13:00～13:20	14:00～14:20	16:20～16:40
10:00～10:20	13:20～13:40	14:20～14:40	16:40～17:00

<面談申し込み方法と期限>

前期三者面談の申し込みは各担任に上記の時間帯のなかで希望日、時間帯を申込日までに電話にて直接お申し込み頂くか、または生徒から担任に申し込みの連絡をお願いいたします。

面談申込みの期限は6月30日（木）まで、受付時間は月曜日から金曜日は12:30～21:30、土曜日は12:30～17:00の間でお願いいたします。尚、担任が授業時間の場合は、教務または事務が承ります。

### ■ 後期は毎日開館、だから、毎日勉強できます！

後期の年間行事予定を大幅に改定させていただきました。旧年間行事予定では、日曜日は休館日で利用できませんでした。これでは忙しい高校生は勉強できません。そこで後期からはお正月の4日間を除き、2月29日迄、毎日開館することに致しました。

土曜・日曜・祭日を含む毎日、授業が受けられ、自習ができるようになります。(TAIを除くWEB授業とPL指導。詳しくは別紙SELのプリントを参照下さい。)WEB授業の授業時間と回数は、従来90分×7回だけでしたが、より効率的な勉強ができるように、45分×14回の形も選択できるようにしました。

お子さんが自宅でなかなか勉強が進まない様子の時、「塾で勉強したら？」とひとこと声をかけてあげて下さい。学習環境はとても重要です。テレビや漫画やゲーム等の誘惑のない場所や空間で、2～3時間勉強してから自宅に戻って勉強すれば、気分もリフレッシュできるはずです。

「塾の往復時間があったくない。」と言う生徒もいますが、時間をかけて通塾するからこそ塾での学習時間を充実したものにでき、指導者のいる環境だからこそ、学習上の疑問をその場で解決できるという、高校生にとっての大きなメリットがあると思います。自転車やバスに乗ることで気分転換を図ったうえで、自習室で集中して勉強する、といった良い習慣を是非身につけていってほしいと思います。

## ■ 合格設計図の策定

今月は合格設計図作成用の記入用紙と、国立志望の生徒にはセンター+二次配点割合記入表を配布致しました。この用紙を提出していただいた後に、各自にカラープリンタで出力した最新版の資料をお渡しする予定です。(見本をご参照ください。)

闇雲にただ勉強するのではなく、明確な短期目標を設定して勉強する方が、最終目標に到達する可能性が高いことは明らかです。この合格設計図の策定は、自己管理ノートと共に、勉強の効率化をはかり、第一志望合格を実現させるための非常に重要なツールとなります。

しかしながら、「書くのが面倒くさい。」「あまり意味がない。」という言い訳を先にしてしまい、きちんと策定作業をしない生徒が多いのも実情です。実際、浪人生でもきちんとできるまでに数ヶ月を要します。

残り時間をきちんと計算すれば実は明らかなのですが、センター試験まで残すところあと210日しかありません。毎日7時間勉強できるとしても、全部で1400時間しかないのです。これを7科目で割ると、1科目あたり200時間となります。

現在使っている1教科の教材の総頁数(例えば英語であれば、英文法・長文・作文などの全教材の合計の頁数)が200ページだとすれば、その教材を1回解くだけで終わってしまいます。(見直しをせずに1回解くだけでは、当然得点アップにはつながりません。)

あとひと月後には、もう夏休みがやってきます。勉強の効率化を図らなければならない理由がもうそろそろしみじみと分かってくるはずです。これからもお子さんに対して、勉強の効率化の必要性を繰り返し指導して行くつもりです。

## ■ 定期テスト、高得点続出!?

高1・高2生の定期テスト対策補習が終了しました。授業日以外の日も通学して、皆さんよく勉強していたと思います。

高3生になると、志望大学がはっきりしてくるため、単位をとるためだけの科目と、受験でも使用する科目とで、力を入れるべきものとそうでないものを区別する必要があります。しかし、高1・高2生に

としては、大学受験のベースとなる英語・数学の定期試験できちんと得点できることは、その後の実力の伸びに大きな影響を与えます。理解力だけでなく、定着作業が上手に出来ていることを証明しているからです。

毎回の定期テスト毎にこの無料補習授業を行いますので、これからも今回の調子でガンガン勉強して、学校で首席を取れるようになるまで、どんどん成績を伸ばして行って欲しいと思います。

## ■ 6月・7月・8月の予定

【年月日】	【曜】	【現役予定】
2011年6月10日	金	高1・高2定期テスト対策特別終了
2011年6月13日	月	合格設計図作成のための二者面談開始・夏期講習申込開始
2011年6月18日	土	土曜講習 「部活で忙しい生徒のためのテスト勉強法」
2011年6月22日	水	6月期終了
2011年6月23日	木	7月期開始
2011年6月25日	土	土曜講習 「センター数Iの基本」
2011年6月30日	木	三者面談申し込み〆切
2011年7月2日	土	前期三者面談
2011年7月3日	日	前期三者面談
2011年7月6日	水	内部生夏期割引特典〆切
2011年7月13日	水	夏期講習申し込み〆切
2011年7月15日	金	7月期終了
2011年7月18日	月	第1ターム夏期講習開始 7/23迄
2011年7月25日	月	第2ターム夏期講習開始 7/30迄
2011年8月1日	月	第3ターム夏期講習開始 8/6迄
2011年8月8日	月	第3ターム夏期講習開始 8/12迄
2011年8月17日	水	8月期開始

※ 振替予定については「個人別授業予定表」を生徒にお渡ししておりますのでご参照ください。また、後期の予定全体については「2011年間予定表 後期改訂版」をご覧ください。

## ■ 無料で質問できます

月～金曜日の17:00～18:00はインフォメーションで、英語・数学の質問が自由にできます。個別授業で使用していない教材を持って来てもらっても構いません。先生方をできるだけ上手に利用して欲しいと思います。

大学受験に必要なあらゆる情報をご提供します。下記のアドレスまでご連絡ください。

予備校クラズニック 札幌市北区北37条西3丁目3-11 麻生駅徒歩2分

あさぶ現役部



011-299-1311



asabugenekibu@gmail.com